

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-547
研究課題名 脊髄くも膜下麻酔による帝王切開手術中の鎮静管理に関する検討
研究期間 西暦 2015年 1月（倫理委員会承認後）～ 2015年 12月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録・麻酔記録）
上記材料の採取期間 西暦 2013年 7月～ 2014年 6月
意義、目的 帝王切開手術の麻酔は脊髄くも膜下麻酔で実施される事が多い。母体の生理的状态や児の出生時の状態に関して有利な麻酔方法ではあるが、出生後・臍帯結紮後の手術時間内には鎮静薬の使用を希望されることが多い。こうした場合、全身麻酔薬プロポフォールや鎮静薬デクスメトミジンが使用されることが多いが、鎮静の状況や循環状態に関して比較検討が行われていない。患者背景や術前後の状態、合併症の発生の有無などについて調査し検討することを本研究の目的とする。
方法 東北大学病院で2013年7月から2014年6月までの期間に帝王切開術を受けた患者を対象とする。診療録・麻酔記録のデータを後ろ向きに検討する。調査項目①術前の病態・患者背景生化学検査データ、生理検査データ。②術式・手術時間・麻酔時間。③麻酔薬投与量・脊髄くも膜下麻酔レベル。④鎮静薬投与の有無・投与量。⑤投与前後の循環変動。⑥周術期合併症。⑦術後の鎮静状態を含む予後。統計学的解析にはJMP Pro v11日本語版を使用して、t検定、カイ2乗検定を行い、検討項目によっては多変量解析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座麻酔科学・周術期医学分野 実施責任者：吾妻俊弘 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 TEL：022-717-7321 FAX：022-717-7325